

第1学年 体育科学習指導案

日時：平成26年10月10日（金）6校時

児童：1年1組 男12名 女11名 計23名

【研究主題】ふるさとの復興を担う「人づくり」の展開 ～「自分から」かかわり、学びを深める児童の育成～

東日本大震災から3年、私たちの住む宮古市でも公私ともに復興に向けた取り組みが進んでいる。震災当時児童は3歳、自宅が全壊・半壊し避難所で過ごした児童もいるが、避難所生活は長くない。児童のお多くは、震災の記憶が断片的だったりあいまいだったり、当時のことを辛い体験として明確に覚えていない。また、震災前の宮古の町を覚えている児童も多くない。言わば、「震災を知らない」世代が始まっている。私たちは、震災を伝え、災害時に被害を最小限にする取り組みをしていかななくてはならない。

児童がこれから成長していく過程には、自然震災やそれ以外にもさまざまな困難なことがあるであろう。そうした困難に負けず、これからの社会を担う「人づくり」のためには、健康な心と体を作り、人と関わることができる生きる力が大切であると考えます。

本単元の「ころりんすいっちであそぼう！（マット運動遊び）」で取り上げる運動は、「できた」時の喜びを感じられる運動である。「できた」喜びは次の運動や活動への意欲につながり、喜びを友達と共有することでよりよい集団を作っていけると考える。活動を通して、いろいろなことに自分から意欲的に取り組める子ども、友達と励まし合いながらあきらめずに取り組もうとする子どもを育てていきたい。

1 単元名 「ころりんすいっちであそぼう！」

B 器械・器具を使つての運動遊び イ マットを使った運動遊び

2 単元の構想

(1) 学習指導要領に示されている指導目標及び内容

○目標

第1学年及び第2学年の目標

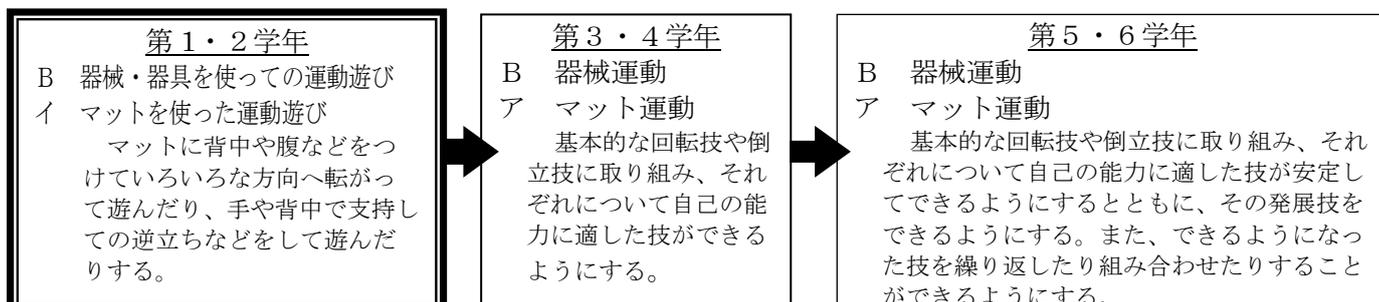
- (1) 簡単なきまりや活動を工夫して各種の運動を楽しくできるようにするとともに、その基本的な動きを身に付け、体力を養う。
- (2) 誰とでも仲良くし、健康・安全に留意して意欲的に運動する態度を育てる。

○内容

B 器械・器具を使つての運動遊び

- (1) 技能 次の運動を楽しく行い、その動きができるようにする。
イ マットを使った運動遊びでは、いろいろな方向へ転がり、手で支えての体の保持や回転をすること。
- (2) 態度 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
ア 固定施設・マット・鉄棒・跳び箱を使った運動遊びに進んで取り組みこと。
イ 運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動すること。
ウ 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にすること。
エ 器械・器具の使い方や置き方などの場の安全に気を付けること。
- (3) 思考・判断 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫できるようにする。
ア いろいろな固定施設や器械・器具を使った運動遊びの行い方を知り、楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選ぶこと。
イ 器械・器具を使つての運動遊びの動き方を知り、友達のよい動きを見付けること。

○学習の系統（マットを使った運動遊び）

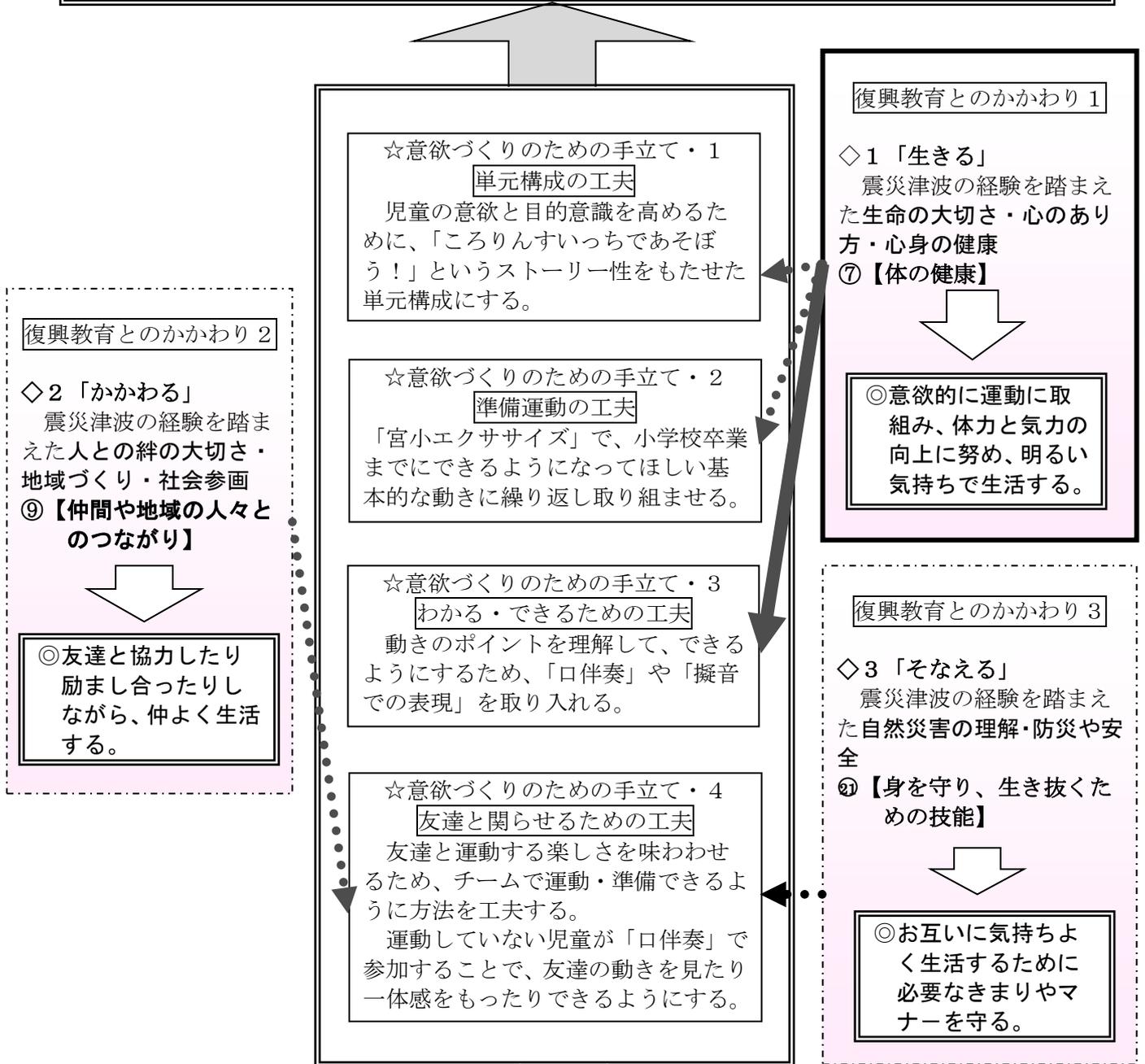


◎本校の復興に向かう合言葉＝「自分から」

《本単元で目指す子どもの姿》

【意欲づくり】

きまりや約束を守り、友達と運動を楽しむことができる子



復興教育とのかかわり 2

◇2 「かかわる」
震災津波の経験を踏まえた人との絆の大切さ・地域づくり・社会参画
◎【仲間や地域の人々とのつながり】

◎友達と協力したり励まし合ったりしながら、仲よく生活する。

復興教育とのかかわり 1

◇1 「生きる」
震災津波の経験を踏まえた生命の大切さ・心のあり方・心身の健康
⑦【体の健康】

◎意欲的に運動に取組み、体力と気力の向上に努め、明るい気持ちで生活する。

復興教育とのかかわり 3

◇3 「そなえる」
震災津波の経験を踏まえた自然災害の理解・防災や安全
⑩【身を守り、生き抜くための技能】

◎お互いに気持ちよく生活するために必要なきまりやマナーを守る。

【児童の実態】

- 運動能力の差を意識せず、みんな意欲的に運動に取り組む。
- 明るく素直で、向上しようとする気持ちをもっている。
- 友達とのトラブルは少ないが、友達とかかわるよりも、自分の好きなことを一人で楽しんでいる児童がいる。
- ・ 指導前、前転がりて起き上がれる児童は13名、後ろ転がりて起き上がれる児童は3名である。

【単元について】

器械・器具を使った運動は、子どもたちが苦手意識をもちやすい領域である。そこで、動物の動きをまねさせたり、場を工夫したりして、楽しい遊びの中で、基礎感覚や基本的な動きを身に付け、体力の向上を図る。
「口伴奏」や用具の準備・片づけなど友達と活動することにより、励まし合ったり助け合ったりして友達と関わることで、さらに楽しく運動できるようにしたい。

(3) 単元の目標

- ① 関心・意欲・態度：運動や用具の準備・片づけに進んで取り組み、運動の順番やきまり守って仲良く運動したり、場の安全に気を付けたりすることができる。
- ② 思考・判断：マットを使つての運動遊びの動き方を知り、友達のよい動きを見付け、チームの演技を楽しむことができる。
- ③ 技能：いろいろな方向への転がりや、手で支えての体の保持や回転ができる。

3 指導と評価の計画

時間	主な学習活動	体育科のねらい	評価規準（評価方法）			復興教育のねらい
			関心・意欲・態度	思考・判断	技能	
1	オリエンテーション ・「ころりんすいっちであそぼう！」の学習の内容 ・チーム分け・並び方	○マットを使った運動遊びについて知り、活動への意欲をもつことができる。	◎マットを使った運動遊びに進んで取り組もうとしている。（観察）			◎意欲的に運動に取り組み、体力と気力の向上に努め、明るい気持ちで生活する。 1【生きる】 ⑦【体の健康】 ○友達と協力したり励ましあったりしながら、仲よく生活する 2【関わる】 ⑨【仲間や地域の人々のつながり】 ○お互いが気持ちよく生活するために必要なきまりやマナーを守る 3【備える】 ⑳【身を守り、生き抜くための技能】
2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6	じゃんけんすごろく ・くま歩き ・うさぎ跳び ・あざらし歩き ・くも歩き ・かえるの足うち マットを使った運動遊び ・前転がり ・川跳び ・まるた転がり ・ゆりかご ・後ろ転がり ・にんじゃ転がり	○運動の順番やきまり守って、仲良く運動することができる。 ○いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転ができる。 ○用具の準備・片づけを進んで行うことができる。	◎運動の順番やきまりを守って、仲良く運動している。（観察）	◎うさぎ跳び・かえるの足うちのポイントを見付けている。（記述）	◎うさぎ跳び・かえるの足うちができる（観察）	
			◎用具の準備・片づけを進んで行っている。（観察）	◎前転がり・川跳びのポイントを見付けている。（記述）	◎前転がり・川跳びができる。（観察）	
7 （本時） ・ 8	ころりんすいっちであそぼう ・チームでつなげよう ・一人でやってみよう	○チームの演技を話し合い、協力した運動を楽しむことができる。 ○いろいろな方向への転がりや、手で支えての体の保持や回転ができる。	◎チームで励まし合い、仲良く運動している。（観察・記述）	◎チームの演技を話し合っている。（観察）	◎後ろ転がりのポイントを見付けている。（記述）	
				◎友達のよい動きを見つめることができる。（発言・記述）	◎いろいろな方向への転がりや、手で支えての体の保持や回転ができる。（観察）	

4 本時の学習について

(1) 目標

○チームの演技を話し合い、協力した運動を楽しむことができる。

(2) 評価規準

思考・判断	B おおむね満足 ・話し合いに参加し、チームの演技が成功するように技の担当を考えている。	努力を要する児童の支援 ・話し合いの中で、自分のできる技を伝え、チーム演技に協力しようとする気持ちをもつよう支援する。
-------	---	--

(3) 体育科の視点、復興教育からの視点からの手立て

<p><体育科の視点から></p> <p>ア 1 単位時間の運動量を確保する。</p> <p>イ 口伴奏や擬音に合わせて運動することによって、動き方が理解できるようにする。</p> <p>ウ 友達と協力して運動する楽しさを味わうことができる場を工夫する。</p> <p><復興教育【意欲づくり】の視点から></p> <p>ア 意欲的に運動に取り組めるように、チームで協力する演技を考えさせる。 ⑦【体の健康】</p> <p>イ 友達を応援する言葉かけを考えさせたり、称賛したりする友好的なかかわりを推奨する。 ⑨【仲間や地域の人々とのつながり】</p>	
--	--

(4) 展開

段階	学習活動	○教師の支援	◎評価 ◇目指す児童の具体的な姿
つかむ 7分	1 整列・あいさつ	○素早い整列と元気なあいさつを行い、学習の望ましい態度を身に付けさせる。 ○整列は、教師の位置を基準に並べるようにする。	◇素早く行動し、気持ちのよいあいさつしている。
	2 準備運動 ・宮小エクササイズ	○エクササイズで、体と心の準備を促す。	◇ポイントに気を付けながら、運動しようとしている。
7分	3 本時の学習の確認 ・めあて <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">チームのころりんすいっちをせいこうさせよう！</div> ・今日の活動の確認 ① じゃんけんすごろく ② マットを使った運動遊び ③ ころりんすいっち	○動き方のポイントを意識することが上手な動きにつながることを話す。 ○①や②をしっかりと行うことが、③の成功につながることを意識させる。 ○賞賛したり励ましたりなどの声かけを推奨する。	◇本時の活動内容を理解し、活動に意欲をもっている。
	ふかめる 33分	4 じゃんけんすごろく ・くま歩き ・くも歩き ・あざらし歩き ・うさぎ跳び ・かえるの足うち	○自分から、友達に関わるができるように助言する。

	<p>5 用具の準備【助け合い】</p> <p>6 マットを使った運動遊び ・前転がり ・川跳び ・まるた転がり ・ゆりかご ・後ろ転がり ・にんじゃ転がり</p> <p>7 ころりんすいっち ・チーム演技の技の担当を話し合う ・練習 ・チーム演技【助け合い】</p> <p>8 用具の片づけ【助け合い】</p>	<p>○全員で協力して素早く準備するように声をかける。</p> <p>○運動していない児童が声をそろえて口伴奏を行うことで、一体感をもった学習にする。</p> <p>○前時に試した順番を振り返り、話し合わせる。</p> <p>○話し合いに参加していない児童には、自分ができる演技を伝えるように支援する。</p> <p>○チームで連帯感がもてるように、タッチで演技をつなげさせる。</p> <p>○安全に素早く協力して、片付けができるように声をかける。</p>	<p>◇安全で素早い準備ができるよう協力し合っている。</p> <p>◇これまでに確認した動きのポイントを意識して運動している。</p> <p>◇待っている児童は、口伴奏をしながら、友達の演技を支援している。</p> <p>◎チームの話し合いに参加し、演技の順番を考えている。</p> <p>◇チームの演技を楽しんでいる。</p> <p>◇安全に気をつけて、協力して素早く片付けをしている。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>9 振り返り・あいさつ ・発表</p>	<p>○振り返りの視点を示す。 ・チームのみんなで協力的な演技をするための話し合いができたか。 ・友達のよかったところはどこか。</p>	<p>◇学習を振り返り、チームの運動を楽しんだ感想をもっている。</p>

(5) 板書計画

ころりんすいっちであそぼう！

がくしゅうけいかく

1 オリエンテーション

2・3 うさぎとび
かえるのあしうち

4・5 まえころがり
かわとび

6 うしろころがり

7 ころりんすいっち
<チーム>

8 ころりんすいっち
<ひとり>

めあて
チームのころりんすいっちを
せいこうさせよう！

まえ
ころがり

→かわとび

→まるた
ころがり

→ゆりかご

→うしろ
ころがり

→にんじゃ
ころがり

げんきになることば

(6) 場づくり

